



ASAHIGAWA ROTARY CLUB

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2500 No.3 GROUP
Established on October 26th.1934 RI No.3744

国際ロータリー第2500地区 第3分区

旭川ロータリークラブ 会報

第3624回例会 Vol.77 No.25 2026(令和8)年2月13日(金)

▼ プログラム

クラブリーダーシップラーニングセミナー説明会

メニュー

・筍土佐煮 ・茶碗蒸し ・天井(海老・烏賊・鱈・南瓜・舞茸・茄子・獅子唐)

平和構築と紛争予防月間

出席報告

第3623回例会

2月6日

会 員 99名
出 席 50名
出 席 率 50.51%

RIテーマ

会長 フランチェスコ・アレツツォ

“よいことのために手を取りあおう”

2月20日(金) 第3625回例会プログラム

RI創立記念例会(夜間)

これからの予定

2月27日(金) 休会(2月23日天皇誕生日)

3月6日(金) 新入会員卓話 広葉樹合板株式会社 代表取締役 山口裕也 会員

3月13日(金) ローターアクトクラブ合同例会(夜間)

2月6日(金) 第3623回例会の記録

開 会 宣 言 五十嵐暁郎 会場副監督
国 歌 斉 唱 君 が 代
ロータリーソング斉唱 奉仕の理想

点 鐘 会長 12:30

- 会 長 濱岡雄史 ●編 集 会報委員会 ●委員長 高田雅史 ●担 当 切通洋平
- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30 ●事務局 五十嵐友紀子
- 例会場 星野リゾート OMO7 旭川 〒070-0036 旭川市6条通9丁目 TEL(0166)29-2777 FAX 24-2114
- 事務局 道北経済センタービル 2F 〒070-0043 旭川市常盤通1丁目 TEL(0166)25-1551 FAX 23-3398
- ホームページ <http://www.asahigawarc.org/> ●Facebook facebook.com/asahigawaRC/



facebook

会長挨拶：濱岡雄史

皆さま、例会にご出席いただき、ありがとうございます。

本日は、4月18日に開催されます「IM」のご案内のため第3分区ガバナー補佐 吉川裕二様をお迎えしております。後程よろしく願いいたします。

そして、本日の会員卓話は株式会社翠光園 専務取締役 田島亮一会員です。スピーチを楽しみにしております。

2月はロータリーにおける「平和構築と紛争予防月間」です。改めて、私たちの活動がどのように平和へ寄与しているのかを見つめ直す大切な機会と受け止めております。

ロータリーは創立以来、国境や文化の違いを越えて、相互理解と信頼を育むことを使命としてまいりました。

奨学金制度や職業研修、国際交流プログラムなど、長年にわたり平和の担い手となる人材を育成してきた歴史は、私たちが誇るべき財産であります。

平和とは、誰かが与えてくれるものではなく、私たち一人ひとりが主体的に築き上げていくものであるという考え方は、ロータリーの精神そのものと言えるでしょう。

また、私たちのクラブが地域で行っている奉仕活動も、実は平和構築の重要な一部を担っております。地域の安心や信頼を育む取り組みは、紛争を未然に防ぎ、社会の安定を支える基盤となるからです。

大きな国際紛争だけが「平和」の対象ではありません。身近な地域社会における対話、理解、協力の積み重ねこそが、より広い世界の平和へとつながっていきます。

今月は、ロータリアンとしての原点に立ち返り、私たちの活動がどのように平和へ貢献しているのかを意識しながら、日々の奉仕に取り組んでいければと思います。

そして、クラブとしても、地域の皆さまに信頼され、共に未来を築いていける存在であり続けるために、引き続き力を合わせてまいりましょう。

本日の例会が、平和への思いを新たにし、クラブの結束をさらに強めるひとときとなれば思いま

す。

それではお食事にいたします。

委員会報告

PELS/CLLS 実行委員会

新田守 実行委員長より

PELS/CLLS 実行委員会組織のご案内及び国際ロータリーの行事のご案内。

ビジター紹介

RI第2500地区第3分区 ガバナー補佐

吉川裕二 様 旭川北RC

(職業分類：不動産取引)



ニコニコボックス

吉川裕二 様

(RI第2500地区第3分区 ガバナー補佐)

旭川RCさんの例会に出席させていただきました。IMをどうぞよろしく願いいたします。

仲山昭義 君

誕生祝を頂き、ありがとうございました。

岸井康祐 君

誕生日プレゼントを頂き、有難うございます。

メーカーアップ

1月31日(土)～2月6日(金)迄 敬称略

〔2月4日(水) 第1回次年度理事会〕

國松 誠・東郷明子・濱岡雄史・新田 守

田島亮一・太田弘文・八鍬秀明・浅井 傑

田中稔力

〔2月6日（金）北海道2500RECへ〕

小滝達也

プ ロ グ ラ ム

新入会員卓話

「(株) 翠光園のご紹介と緑のお話」

株式会社翠光園 専務取締役 田島亮一 会員



本日は翠光園のご紹介をさせていただき、普段造園屋さんはどういう仕事をしているのか、皆様にお話しします。

翠光園は昭和21年12月に祖父の田島一三が作った会社です。主な業務内容は、官公庁の外構の維持管理業務、個人のお客様のお庭の管理、指定管理者制度による近隣街区公園の維持管理業務、公共工事、正月の門松、しめ飾り、観葉植物などです。会員の皆様にもいろいろとご利用いただいております。

造園屋さん各社にはそれぞれ特色があります。洋風庭園を作る造園屋さんですとか、カーポートやフェンスを設置する造園屋さんですとか…。うちの会社は植木職人がいる昔ながらの和風の植木屋さんです。

我々の業界では、職人を育てるのが大変年月のかかる仕事です。一人前になるまでにおそらく15年ぐらいはかかります。いかに、長く働いていただいて、勉強していただくかというところが悩みの種です。

造園屋さんには特有の縄の結び方があります。入社した方にはまず、造園屋さん特有の「男結び」を教えます。2～3日間、縛っては切って、縛っては切ってを繰り返します。造園作業で使う縄は表面がザラザラしていて、初日のお昼過ぎぐらいには、全員手の皮がむけます。縛り方の基本ができていないといい職人にはなれないので、こ

れはもう根気よく教えます。

先日は坪庭を作りました。施主の社長さんに「高級料亭に植えるような、なんかかっこいい木を植えてくれ」と言われまして。私が旭川一の庭師だと思っているうちの弟が、普段石畳に使う石を立てて使い、そこに料亭にあるような木をうちの会社の畑から探し、黒い玉砂利を敷いて、料亭のように仕上げました。社長さんには「かっこいいね」と喜んでいただきました。



坪庭



個人宅の庭園

指定管理者制度による公園の維持管理も行っています。うちは台場、神居、東光の公園で月に一回、草刈りをしたり、伸びた枝を切ったりしています。カラスや蜂の巣を取ることもあります。市民の方の苦情を聞くこともあり、なかなか精神的に大変なお仕事です。

そして樹木の伐採です。全国的にみれば、毎月のように樹木の伐採で人が死んでいます。木の重心をもとにどちらに倒れるのかななどをいろいろ考えながらやらないと、自分のところに倒れてきます。本当に熟練した技術が必要な仕事です。



大ばさみでの剪定作業

皆さん、生きてる木と枯れてる木、切るのはどちらが危険だと思いますか？ 枯れてる木の方が大変危険です。生きてる木は水分を含んでいるのでコシがあってなかなか折れません。枯れている木はもうコシがないので、予期せぬところから折れるんですね。本当に気をつけてやらなければいけない作業です。

公共工事については、(会場のOMO7の向かい側にある) 市役所旧庁舎跡で駐車場を作る工事を担当し、私はずっと現場にいました。いろんな市民の方から「ここに(新しい)文化会館ができるんじゃないのか」と尋ねられ、「そのようです」と答えると、「税金の無駄遣いだ」とお叱りを受けました。私に言われても困るんですけども。ただ、通常の駐車場よりはかなりコストを削減して作っています。皆さんご理解ください。

公共事業では東光スポーツ公園のせせらぎ(遊水施設)を一昨年、当社で作りました。うちの長男の特権は、翠光園の造った公園の第一利用者になれるということです。保育園で自慢しているようです。

門松作りも行っており、皆様にお世話になっております。四国から取り寄せた孟宗竹の切り口、太さなどをできるだけ合わせて切り、お客様のところで立てます。上川管内の造園業者の団体「緑青会」では、毎年、門松を市役所に寄贈しています。日本特有の伝統文化を、後世につなげるためいろいろなところに行き勉強しています。

毎年2月末から3月上旬に、全国の造園屋さんが集まって「造園感謝祭」を開いています。年ごとに担当ブロックが決まっています。担当する年には北海道ぐらいから伊勢神宮の内宮に行って献木

しています。全員が白い服を着て、宇治橋を渡り、えらい宮司さんにお清めをしていただいてから献木してきます。

樹木は大切な役割を果たしています。まず温暖化防止です。太陽の力で二酸化炭素を吸収し、酸素を作り出します。酸素は人間が生きていくためにも必要です。第2に汚染物質を吸着して空気を浄化します。第3に川をきれいにするという事です。樹木のある土壌には小さな空隙があり、その隙間がフィルターの役割を果たして、水をろ過してくれます。第4に生き物を育むということです。多くの虫や鳥、動物の住処となるだけでなく、川の上の木は日傘の役割を果たし、川の温度を抑えて魚が生息する上でも重要な役割を果たしています。

最後に私が思う旭川の緑の現状についてです。旭川市長が北彩都ガーデンを桜の名所にしたいと意気込んでいます。同級生の私は「何年くらいで見ごろになる？」と市長に尋ねられ、「20~30年はかかるよ」と答えると、驚かれました。大きく、太くならないと見ごろにはなりません。人間と同じで、育つまで我慢してくださいということです。

いま街路樹の剪定は、苦情対応を主な目的に、秋口にバツと行っています。樹木本来のかたちではなく、ちょっと寂しいです。

老朽木は、安全面に配慮して伐採していますが、そのうち捕植されているのはごくわずかです。樹木は人間と一緒に、大きくなるまでに何十年もの月日がかかるので、後世につないでいくためにも長期的な目線が必要です。今から植えましようとして業界団体として市役所に要望しております。

ガーデンシティと呼ばれ、美しい街並みが広がるシンガポール、プラハ、ウィーンなどの都市は、緑被率が約50%です。日本は22%で、国際的にみれば下位にあります。もっと緑を増やして、旭川を住みよいまちにするお手伝いができたらと思っています。

点鐘 会長 13:30